

令和 2 年度（第 3 回）葉山町総合計画審議会 会議録（案）

- ◇ 開催日時 令和 2 年 7 月 31 日（金） 14 時より 16 時 00 分
- ◇ 開催場所 葉山町役場 3 階 議会協議会室 1
- ◇ 出席者 臼井正樹会長、荒本広之委員、守谷寿浩委員、福安德晃委員、高梨麻美委員、近藤大輔委員、
- ◇ 欠席者 3 名（南森生委員、三澤直樹委員、早川隆子委員）
- ◇ 事務局 伊藤政策財政部長、佐野政策課長、大前係長、碓野主任
- ◇ 傍聴者 3 名
- ◇ 議題

1 開会

2 議題

- (1) 令和 2 年度第 2 回総合計画審議会議事録について
- (2) 令和 2 年度第 2 回総合計画特別委員会について
- (3) 町民アンケート調査について
- (4) 基本施策について
  - ・ “人を育てる” 葉山について
  - ・ “暮らしを守る” 葉山について
- (5) その他

3 閉会

◇ 資 料

令和 2 年度第 3 回葉山町総合計画審議会 次第

- ① 基本施策 1・2 に係る意見への対応 (資料 1)
- ② 後期基本計画（基本理念 1 人を育てる）原稿 ※政策課更新用 (資料 2-1)
- ③ 後期基本計画（基本理念 2 暮らしを守る）原稿 ※政策課更新用 (資料 2-2)
- ④ 後期基本計画（基本理念 3 活力を創造する）原稿 ※政策課更新用 (資料 2-3)
- ⑤ 後期基本計画（基本理念 4 みんなでつくる）原稿 ※政策課更新用 (資料 2-4)
- ⑥ 令和 2 年度（第 2 回）葉山町総合計画審議会 会議録 (参考資料 1)
- ⑦ 特別委員会からの意見等 (参考資料 2)
- ⑧ 令和 2 年度「第四次葉山町総合計画 後期基本計画」策定に向けた (参考資料 3-1)  
基本施策のお金のかけ方・満足度等アンケート調査 報告書
- ⑨ 令和 2 年度「第四次葉山町総合計画 後期基本計画」策定に向けた (参考資料 3-2)  
アンケート調査 <自由記述一覧>
- ⑩ 令和 2 年度基本計画スケジュール (参考資料 4)
- ⑪ 「事業へのお金のかけ方について」 (参考資料 3-1 追加 机上配布)
- ⑫ 「アンケート調査自由記述一覧」(未定稿) (机上配布)

## 1 開会

### 事務局

定刻になりましたので、これより令和2年度第3回葉山町総合計画審議会を開催させていただきます。

### 配布資料の確認を実施

本日、机上配布させていただいております資料について、「アンケート調査自由記述一覧」（未定稿）は、内容については変わらないのですが、項目毎に並べ替えを行い見やすい資料になっておりますので、参考としてお配り致しました。また、2枚でとめております5「事業へのお金のかけ方について」は、参考資料3-1が29頁までになっておりましたが、30～32までの3頁分が追加となっておりますので、別途本日お渡ししております。大変失礼致しました。それでは、ここからの進行は、臼井会長にお願い致します。会長、どうぞよろしくお願い致します。

### 臼井会長

今、横須賀市では、市役所の中の会議は、内部の人も含めて関係者の会議は概ね1時間位でやっているようです。そうは言っても必要な議論はした方がよいのですが、ただ、コンパクトな会議にしたいと思っておりますので是非、ご協力いただければと思います。今日もよろしくお願い致します。

本日の出席状況は、委員9名に対し出席委員が私を含めて6名ですので、過半数を超えております。委員会規則の規定により本会議は成立しております。ご欠席の連絡があるのが、南委員、三澤委員、早川委員の3名です。傍聴の関係ですが、傍聴者については、マスク着用の上可能ということにさせていただき希望を募ったところ、3名の傍聴希望者がいらっしゃいます。お諮りしたいと思います。傍聴者の入室を許可することとしてよろしいでしょうか。

一同、異議なし

傍聴者3名入室

それでは、次第に沿って始めさせていただきたいと思っております。議事録の確認について、事務局よりお願い致します。

## 2 議題

### (1) 令和2年度第2回総合計画審議会議事録について（参考資料1）

### 事務局

資料送付の際に記載をさせていただきましたとおり、何か議事録に修正がありましたら、用紙の提出もしくはご連絡をいただければと思います。会議を始める前に1～2点修正についてご連絡をいただいておりますので、既に修正がある状態となっております。どうぞよろしくお願い致します。

### 臼井会長

既にお出しいただいたものについては、修正させていただくものとして、それ以外にもあるようでしたら、会議が終わるまでにお出しください。修正がある場合は、修正の上、議事録は町のホームページに掲載となりますのでよろしくお願い致します。

それでは、今日の(2)の議題で、「令和2年度第2回総合計画特別委員会について」事務局よりご説明お願い致します。

## **(2) 令和2年度第2回総合計画特別委員会について (参考資料2)**

### **事務局**

こちらは、7月14日に開催されました議会の総合計画特別委員会において、基本施策3、基本施策4についてご意見、確認事項を多数いただいたものになります。前回の審議会で皆様からいただきましたご意見と合わせて現在、各課に調整を依頼しております。まだ、現在、完全に調整しきれておりませんので、資料3、4の修正がしきれていない状況であります。次回8月下旬の第4回総合計画審議会の時には、パブコメ案になるようなものでお示し出来る予定です。

### **臼井会長**

参考資料2に町の特別委員会で出たご意見を箇条書きで並べていただいております。各課と調整中ということでもありますので、次回以降に直ったものが出てくるということに理解したいと思っております。これについて特別ご意見はよろしいですか。

一同 特に意見はなし

それでは、次回以降、どのような形になるのか楽しみにしたいと思います。進行にご協力いただきありがとうございます。それでは議題(3)「町民アンケート調査について」アンケート調査結果が一定程度まとまってきたようなので、現時点での状況を事務局からご説明をお願い致します。

## **(3) 町民アンケート調査について**

**(参考資料3)**

### **事務局**

資料3頁、前は単純集計まででしたが、今回は、前年度の比較やクロス集計の分析まで入れた資料になります。また、前回、特別委員会で青色のグラフの色味がわかりにくいというご意見がありましたので、色をカラフルにして見やすくさせていただいております。今回、アンケートの回答数は、1,500件発送し739件の回収、回収率49.3%となっております。前は673件の回収で回収率は44.9%でしたので、前回より66件、4.4ポイント上昇しております。今回のアンケートの全体的な特徴としては、設問の前半部分にあたる年齢、性別、主な通勤先など、回答者ご自身の属性に関する質問に対しては、無回答の方が多く傾向が見られ、個人情報に対する意識が高まっているのかと感じ取れました。

参考資料3-1：町民アンケート調査について、4頁以降、個別の設問について事務局より説明 (説明省略)

## 臼井会長

簡潔なご説明ありがとうございました。アンケート調査のクロスした主なものについてご報告いただきましたが、ご質問ご意見ありましたらお願い致します。

## 高梨委員

15 頁、問 11「普段、自家用車を運転していますか」の設問について、今回、10 代の回答者が多かったということで、法定年齢に達していない子達が回答したことがここに影響しているかどうかについて、どのような考察をされているのでしょうか。

## 事務局

10 代の方の回答クロスについて、しっかり見ていなかったのを確認させてください。

## 高梨委員

よろしくお願ひ致します。もう一点、23～24 頁、問 14「暮らしやすい町を作るための取組に参加しているか」の設問について、暮らしやすい町を作るための取組が何を指すのかということですが、このアンケートに回答してくれていることは参加していることになるのではと個人的に思います。町の政策に対して自分なりの意見を言い自由記述にこんなに書いてくれているにも関わらず、自分は参加していないと思っている人がこんなにいること自体が、町の取組を町民もこちらで出す側も無駄にハードルを上げているのかという気もします。このように自分が町の施策について自分ごととして取り組んで意見を言うこともひとつの取組と言って良いのではというところは、今後の議論の中に入れていただけたら嬉しいです。一方で、仕事や学業で「時間が無い」という人でもこのような活動なら取り組めるという一つの案でもあります。今回のアンケートが5月の実施だったので、もしかして、リモートワークで家にいる方が多かった、学生さんの部活がなくて時間が少しできてこれに答えられた等、そのようなこともあるかと思うので、そのあたりも含めて考察に入れていただければと思います。

## 臼井会長

今のお話は、調査概要を総括的にまとめた時に、回答数と回答率が少し上がった訳をコメントとして書き入れたらどうですか。つまり、「回答することを通して、町のために努力して下さる方が増えました」と書いて調査結果をオープンにすることで一定のメッセージになると思います。少し意識してあげると町民の方にとって良いことなので、もっと積極的に意見を言ってくださいということにどれだけつながるかはわかりませんが、やって損はないという気がします。

## 高梨委員

それが、他のところに出てくるパブリックコメントの数が少ないということの打解

策として、例えば今回のアンケートの項目に入っていないませんが、次の時には、「そのようなパブリックコメントに自分も参加する」というようなものも入れること等考えると、「これならできる」と思えるかと思いました。

### **臼井会長**

パブリックコメントの話は、行政的にはアンケートをするのとは別に施策レベルで住民の方に直接影響を及ぼすような事柄について意見を求めることが趣旨なので、これとは種類が少し違います。パブリックコメント自体は厳密に言えば、いろいろなところでいろいろやっていますが、特別大きく住民に対して不利益が起きないのであれば反応が少ないのが一般的な傾向になっていて、それ自体は皆、了解されている話なのでそこは分けて考える話だという気もしますが、今みたいな話を考えておくことは適切ではないかと思います。

### **近藤委員**

非常に内容を精査されていてトレンドとしても的を得ていると思います。もっとアンケート数が多い方がより精度が上がると思います。約3万2千人住んでいる中にあり、739人という数をどのように捉えた上でこのアンケート結果を捉えるべきかを思いながら聞いていました。分母が約32,000ということで739をどう考えるかですが、よくトレンド調査をするに3,000件の媒体は集めるべきという話を聞きます。今回、32,000の町ですからそうでなくてよいと思いますが、1,500人にまいた根拠、もしくは739人をどう捉えているのかありますでしょうか。

### **事務局**

あまり確たる根拠はないと思います。ただ、前回、平成27年度からの第四次総合計画を作る際のアンケートも1,500でやりました。あまり多くなると作業が大変、分類がつかない記述が多いこともあり、当初、第四次を作る時は、今回のコンサルとは別でしたが、コンサルと相談しながら人口3万2~3000人に対してこの辺が最適だろうと採用しました。ただ、おっしゃるように数が多ければいろいろなご意見、言葉を発しづらい方のご意見も吸い上げもできます。今回、自由記述欄の記述が非常に多く、10代の方の回答が多くありました。大人びた回答も多くいただき、とても良かったと思っています。これをどう施策に反映させていくかは、私達と各課の調整によります。今回のアンケートはなかなか良くできていると思っていますが、反省点もありまして、次の第五次総合計画を作る時には、事業へのお金のかけ方について、他自治体と比較してもらわないと葉山町がどのように突出しているか不足しているか分かりづらいというご意見もいただいております。また、属性を回答したくない方も増えていることもあります。これは、議会からも指摘をもらっている状況もありますので、アンケートの取り方についても、次の第五次の時には、なるべく多くの方々にご意見をいただけるやり方を私達も勉強していきたいと考えています。

## 近藤委員

そこまで部長が分析されてご意見を持っておられたら、私としても意見として付しておくだけにしておきます、非常に興味深く読ませていただきました。ありがとうございます。

## 臼井会長

統計の話になったので少しだけ補足しますが、全体の数は、町の行政が対象にしている、つまり総合計画が対象にしている人というのは、一般的に考えれば町に住んでいる人、或いは、町に勤めに来ている人を合わせた人が対象になります。その数はだいたい町民の数とそんなに変わらないはずで、外に行く人もあれば来る人もいるわけで、来る人の方が若干少なく外に仕事をしに行く人の方が多いと思いますが、トータルでは3万人強の数字は大きく変わらないと思います。その時、3万人の町民がどう考えているのかを調べるためにどの位の数に対してアンケート調査をすればどの位の精度で町の概要、住民の方の思いを精度として把握したことになるのか統計学的に数字はあるはずで、その数字は、私は不勉強でその類の事を忘れていますがコンサルに聞いてもらえれば統計学的な数字として間違いなく出る。例えば、NHKが内閣の支持率のアンケートをする時、無作為抽出で1,500～2,000 やり 1,000 件位回答をもらえると国の中の人々のある精度で内閣支持率として妥当なものが出せます。全部を取る必要はないけれども、統計的に大丈夫ということをや裏打ちできる形で対象者数を決めることが科学的にはより適切な数になります。何故、その数にしたのか、少ないより多い方が良いというのはわかりますが、多ければ多いほど手間もコストもかかるので、多すぎると逆に何故そこにお金を使ったかという批判にもなるので、最適なサンプリングがどのようなものかコンサルに理論的な裏付けがあるものをもらってください。多ければ良いというのはひとつの見方ではありますが、この類のことは、トータルで町民がどのような方向で考えているかを取る話なのか、それとも一人の人も見逃さずに意向を聞きたいのかだと、統計調査は、町民の方がどちらの方向を向いているのか方向性の確認をすることであるので、逆に言えば、ニーズを持った一人の人を見逃さないための手法は、それはニーズとして把握する話なのでアンケート調査ではありません。そのように整理をして考えてみてください。近藤委員の話と違う話をしてしまいましたが、一般的には統計調査のサンプリングは母数との関係でどの位の数にするか大前提で決まります。その時に決まった数を無作為抽出する、つまり、町の人口構成と違う形で切り取ると町の住民の人の意見を代表していないということになってしまうので、町の住民の方の人口構成や居住地を意識してサンプリングすることが必要です。そうでなければ全く無作為にするのも手ですが、その辺りの調査の方法と標本数は、コンサルの方にノウハウをお聞きするのがより良いと思います。この話は話し出すと講義になってしまうのでやめましょう。多いに越したことはないというのは、一つの意見で間違いなくいろいろな話を聞くのは良いことですが、それは、計画を作っていくと途中でパブリックコメントにかける時期があ

り、その時に改めて何かあったら言っていただくということの中で少数意見も拾う場面もありますので、手続きとしてアンケート調査はそのように考えるのが前提としては良いのではないかと思います。すみません。部長のお答えに逆らってしまった話ですが、一般的にはそうですね。

### **守谷委員**

町内会で私も動いていますが、アンケートの「協働によるまちづくり」の中で「何に取組みばわからない」という回答が多い。これ辺りは、町内会にも責任があるのかもしれないませんが、できれば町内会別に一色地区でこのように言っている人がどの位いるか等は出ないでしょうか。それを出すのはよくないことでしょうか。

### **事務局**

残念ながら回答者の字は答えていただいておりますが無記名での回答なので、回答者が誰かはわかりません。大字毎までの回答者のクロス集計は出ています。

### **守谷委員**

私も町内会組織でどのようにしたら皆様を巻き込んで上手く進めていけるのか、実は今年のご存知のとおり、新型コロナの影響で総会も書面票決で終わりました。そこにも無記名で要望すること、文句等、なんでも書いてくださいとしたのですが、一件もありませんでした。非常に悲しいというか、文句言われてもそれはよいのですが、なかなか書面で出せというとは出てきません。以前、班長会議で集まった時や福祉関係の会議で個人がざっくばらんな話をするといろいろ意見が出てきます。ですから、そのような場を作って我々も町民の意見を聞かなくてはいけません。そのような中「何に取組みばわからない」が多いのは、どのようなことを意味しているのか理解ができないので、その人が何をやりたいのかもわからない。町内会としては、よりより運営をして町との連携も取れるような、「このようなことを町に言って」という意見も出てくればよいのですが、今まで出てきていないので、その意味でも地域別の分類が知りたいと思いました。そのようなことも含めて、まちづくりのために、或いは、町民がどのような意見を持っているのかより調べたい。最近、一色地区も海岸子ども会がありますが、実は、海岸子ども会は4町会と5町会が入っておりまして、現在、17名加盟している子がいますが、全員5町会になってしまいました。今まで4町会の子がふたりいたのですが抜けてしまいました。私は4町会なので、「何故入らないの」と聞いたら、「塾に行っている」「行っても面白くない」等があります。そのあたり、今後、子ども会を含めてお年寄りも含めた町内としての連携を取ろうと、去年は餅つき大会等も実施しましたが、そのような催しをすると皆、出てきてくれます。そのようなコミュニケーションが取れるような環境を作ったまちづくりをやりたいので、先ほど言ったような参考になるデータがあると良いと思い、話をさせていただきました。

## 臼井会長

今の話は、具体的な施策の中で何か拾える仕掛けがあると良いと考えることもできますので、基本施策の方でもご発言いただければと思います。また、今の話のいくつかは、ここの議論ではありませんが、福祉課がやろうとする地域福祉計画でもう少し町民の方々の声を上手く拾い集める計画を作ることを課題にすることもひとつの方法でしょうから数字は出てこなくても課題があるレベルで明らかになったと理解したいと思っています。ありがとうございました。よろしいでしょうか。アンケート調査の結果報告は以上とし、議題（４）「基本施策について」が本日の本題になりますので、「基本施策１・２に係る意見等への対応について」（資料１）について事務局から説明をお願い致します。

### (4) 基本施策について

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| 基本施策１・２に係る意見等への対応について | (資料１)   |
| “人を育てる”葉山について         | (資料２－１) |
| “暮らしを守る”葉山について        | (資料２－２) |
| “活力を創造する”葉山について       | (資料２－３) |
| “みんなでつくる”葉山について       | (資料２－４) |

## 事務局

資料１と資料２-１（ピンク色の資料）を見ながら説明させていただきます。資料１については、前回、審議会の皆様と特別委員会の皆様からいただいた意見を各課にフィードバックし、各課から修正をする・修正しない・検討する・見直し予定の４つの分類に分けさせていただきました。今回、修正ありと回答したところは、資料２-１でもアンダーラインを引き修正しましたと掲載させていただいております。

### 【基本施策１・２に係る意見等への対応について（資料１）】

資料１「基本施策１・２に係る意見等への対応について」を見ながら、資料２-１、資料２-２の修正があった部分についての反映された箇所について、事務局より説明（説明省略）

## 臼井会長

ご説明ありがとうございます。前回、前々回に渡って総合計画の４つの基本施策について審議会からいただいた意見と特別委員会からいただいた意見を元に町役場の中で精査をした結果、現段階で直せているところについて、資料２-１“人を育てる”葉山と資料２-２“暮らしを守る”葉山のご説明をいただきました。この後“、活力を創造する”葉山、“みんなでつくる”葉山の説明までいけるかどうかわかりませんが、まずは、“人を育てる”葉山の部分で、直していただいたことに対して、何かご意見等があれば、更に何う手続きを本日はしたいと思いますが、どこからでも結構ですのでよろしくお願い致します。



## 福安委員

全体的なことですが、施策によりデジタルな要素を含めていかななくてはいけないのかと思っています。特に最近、新型コロナウイルスでステイホーム、リモートになり、皆さん、ICTの重要性がより腑に落ちてきたところだと思います。そのような意味で全体的に施策を通して少しアナログな感じがすると思います。先程のアンケートもネットを使えばもっと効率的にできるし集計も楽だと思います。例えば、学校教育しかり、葉山のウォーキングマップしかり、いくつかの施策でもう少しICTを使う事により効果的な施策ができると思われる部分がたくさんあります。よりデジタルな要素を施策に盛り込むことを考えたほうがよいのかと、特に今、新型コロナでリモート、ステイホームの時期なので、そのように思いました。

## 臼井会長

少しだけよろしいでしょうか。全般的な意見は、全くそのとおりで、可能な範囲でできるだけ取り入れた方がよいと思います。ひとつだけ気になったのは、インターネットを使ってアンケートをするというのは、先程の統計的な説明でいうと、調査対象にバイアスがかかっているかの確認ができなくなります。或いは、インターネットに強い人に対してアンケートを取る状況になってしまいアンケート結果にある種のバイアスがかかる可能性があるため、使い方を決めてやらなくてははいけません。インターネットでアンケートをやれば良いというのではなく、ひとつの答えとしては出てきますが、それは、どのような状況の元でそれを使うのか更に求められるということは承知しておいてください。つまり、無作為であるというのはとても難しい条件でありまして、その難しい条件を満たしていないとある所に偏った意見になってしまうと葉山町全体3万人全体を代表した意見にならなくなります。でも、例えば、件数が多くて、インターネットで3,000件意見が寄せられて、その3,000件の中でこのような意見があったというのは、それは少なくとも葉山町の10分の1の人の中でそのような傾向があったということで事実としては間違いないのですが、では全体なのかの議論は、全体の意見かどうかも一回精査が必要という状況で判断する必要があります。ただ、間違いなく環境としていろいろな部分で整備されていないが故に学校運営が大変になっている、また、いろいろな仕事がやりづらくなっているというのは間違いない事実なので、できるだけ対応を上手くいろいろなところに分散して可能な範囲のことを書き込むのは大事だと思います。それは、難しいところですが、新型コロナ対応を計画策定のプロセスの中の要所要所に入れていくことで一定の対応をしたことになるのか、それともどこかにもう一回真正面から入れなくてはいけないのか、時間があったら議論をしたいと思います。少なくとも可能などころで今のことを入れておく事が求められると思います。今、お話いただいたこともそうですし、近藤委員からの話も同様のことだと思いますので、是非、よろしくお願い致します。

## 事務局

福安委員は、第四次を作る時から「シェアオフィスの環境があったらわざわざ通勤の時間をかけずに仕事に当てられる時間が増える」と言われており、今の時代が 27 年当初に福安委員が言われていた事に追いついて来てしまい、流石だと思います。先程「ギガスクール」という聞き慣れない言葉がありましたが、全ての小中学校の生徒児童に対してタブレット端末を貸与し、例えば、今回のような新型コロナ禍になった時に自宅で学習できるような環境を整備するという国の方針があります。これについて、全国一斉に始まるため物の調達が上手くいかないという中、葉山町は高校受験を控えた中学 3 年生から整備し、順次、小学校 1 年生から中学校 2 年生まで揃えようとしています。今、話を聞いていて思ったのは、第四次の基本構想を作った時、中学生に対するアンケートをやったので、今回のアンケートでは、かなり若年層の若い方々に良い反応をしてもらっているのです。葉山中学校と南郷中学校にタブレット端末を通してアンケートをすることも有りだと思います。そのような使い方ができれば、そのカテゴリーは一般のアンケートとは別の物になると思うので、葉山町の将来を担ってもらおう中学生に対するアンケートをタブレットでやれると良いと今、思いました。是非、そのような新たな取組として次回できればよいと考えます。

## 福安委員

ありがとうございます。恐らくこれからいろいろな施策を見直されると思いますが、見直される際に、ここにテクノロジーを付けたらどうなるかという視線を持たれると良いと思います。テクノロジーというと漠としてしまうと思いますが、それにより如何に自動化出来るか、最近よく DX と言われますが、如何に使いやすくて出来るか、テクノロジーによって如何に市民に対するサービスが向上するかの視点を全ての施策に於いて持たれると良いと私は感じました。

## 事務局

今の話はまさにおっしゃるとおりだと思います。ただ、今から全ての基本施策にそれを追記するのはなかなか難しいと事務局では考えています。新型コロナ禍で、3 月 31 日の前日に中止とさせていただいた時に書面開催で福安委員からいただいた意見等を踏まえて、序論の冒頭に於いて、今回の計画策定がこのような経過の中で行われたことを踏まえて、今後、実施計画を作っていく時に、基本的方向性をこれまでのままではなく、今言われたテクノロジー、ICT 等を活用したものが出来るかどうか、いつでもどの施策でも考えていくべきなのではないか、冒頭に網羅するような形で書くのが望ましく考えておりますので、次回のパブコメ案の素案で提案させていただきますのでよろしくお願い致します。

## 臼井会長

是非そうしてください。おそらく、人と人とのつながり方自体が少し変容せざるを

得ない感染症の状況なので、それを踏まえてどのような対応がマクロで必要なのか、今の段階で見越してこの中に落とし込むのは無理です。今でも模索中で、今は、個別に給付金をどうするかをやっているのですが、総論で全体の流れで個別はこのような考えとし、個別の上位にこのような考え方があると整理するのが重要で、見通しが見つからない中、必要な方向性の提示だと思っているので、是非工夫してみてください。是非良い形でまとめたいと思いますのでよろしくお願い致します。

## 高梨委員

近藤委員の話と同じなのですが、今のアンケートの話のところでは、幅広い世代を対象とするアンケート調査をする時に、単一の方法がよいのかということ、向こう5～10年でインターネットの過渡期ということもありますので、インターネットの方が答えやすい年代と紙の方が答えやすい両方の年代がいる調査の時、単一調査がよいのかというところで、例えば、アンケート用紙の表面にQRコードが付いていて、ネットで回答してもよいし紙を出してもよいという方法もあると思いますので、その辺りはご検討いただければ嬉しいと思いました。

## 事務局

ありがとうございます。先程、ボリュームがあるのでご説明できなかったアンケート調査自由記述一覧の中にも、「今どき紙かよ」という10代の子の意見もたくさんありました。広聴の充実を図っていく中で、どうしてもSNS等のインターネットを活用した情報の集め方が必要になります。今、高梨委員が言われたのは、例えばお知らせだけして、回答は紙とインターネットと2種類選べると経費の削減もできるし、そのような工夫もしてみたいと思っています。

## 高梨委員

そうすれば、回答者側のハードルが下がるというところですか。

## 事務局

また、今回、650件あまりの自由記述回答をいただけたことは大変ありがたいことと思っています。もちろん耳の痛い話もたくさんあり至らぬばかりと思いつつ、「このような意見を聞くことがとても大切なので、引き続きアンケートをやって欲しい」という意見もいただいております。それは、真摯に受け止めて行政としてもなるべく多くの方からご意見を頂戴できる形を整えていきたいと考えています。

## 高梨委員

基本施策10「生涯スポーツ活動の推進」：本論に戻ると、意見等に対する対応一覧No.26と28の意見、基本施策10「生涯スポーツ活動の推進」のところで、たぶん私が出した意見も入っていると思うのですが、特別委員会でも審議会でも「単位施策10と

単位施策 16 の両方の中身の違いや整合性が分かりにくい」という意見がどちらからも出るということは読んで分かりづらいということです。言わんとしていることはわかるので、それが伝わるように中身の精査をもう一度お願いしたいです。また、縦割りと言われるとそれまでになってしまうので、そうではなく「こちらは、このような方を対象としたこのようなものです」ということが本文を読んで分かるように書いていただきたいということをもう一度ご検討いただきたいと思います。

## 事務局

ご意見ありがとうございます。これから最終的なパブコメ案を作るにあたり、各課と細かく調整をしていきますので、今のご意見を伝えさせていただきます。

## 高梨委員

単位施策 23-01「資源エネルギー対策の促進」：16 頁に「引き続き HAYAMACATION 等行政自ら率先して～」の「HAYAMACATION」が何か分からないとこの文章がわかりません。このような町独自の取組等、別の所に説明があるのですが、そちらに飛ぶという注釈でもよいので一般的な用語説明は下にありますが、町独自のものについての何かしらのわかりやすさを全般的にご検討いただければ嬉しいと思います。

## 事務局

こちらは、「HAYAMACATION」というもので、e-Golf をフォルクスワーゲン社と連携して取り組んでいるもので、電気自動車を活用しているものです。ご指摘いただくまで役場の人間として分かっているつもりでいたのですが、言われてみると確かに一般の方には伝わらない言葉だと思しますので注釈を入れさせていただきたいと思います。

## 高梨委員

そういった所が他の所にもいくつかありますのでお願い致します。

## 臼井会長

つまらない話ですが、1 回出てきたものは、2 回目はあまり詳しくなくても良いから、起筆で、何頁のどこに書いてあるかだけでも書いてあれば、そこだけ読んだ人と言葉がわからない人は、その頁を読んで意味を理解することができます。そのような整理をどこかのタイミングでしていただくと良いと思います。

## 荒本委員

単位施策 16-01「自発的な健康づくりの支援」：健康づくりの支援推進について、「ウォーキングマップについて配布だけで効果があるのか」と書いてありますが、私自身ウォーキングマップの作成や配布を知らないで申し訳ないのですが、せっかく作っていただいたのであれば、今、新型コロナで難しいと思うのですが、イベント等と絡めてウ

ウォーキングをやって認知や強化につなげていただければ良いと思いました。

## 臼井会長

基本施策2（緑）2頁、単位施策16-01の2行目「ウォーキングマップの作成配布及び活用してのウォーキング教室の実施」、このウォーキング教室の実施がされたのですね。もう少し書く方法があるかどうかという話だと思うのですがいどうでしょうか。何かあったら個別の話で言っていただいても良いかと思います。少なくともウォーキングマップの作成配布ではおしまいにならないで、それを活用して教室を開くというところまでは今は書いてありますが、もう少し良い事業があれば、或いは、取り組みやすくして原課がやってみようというものがあればご提案いただければと思います。

## 近藤委員

基本施策4「**「健やかな体」の育成**」：これまでに様々な議論に参加してきましたので、いろいろ対応されていると見ておりました。多くは申しませんが、特別委員会でも指摘があったのですが、基本施策4の給食センターについて、アンケートの自由記述でも給食センターについてはいろいろ書かれています。特別委員会でも災害時の対応にも踏み込んで欲しいと言われていました。これは、玄人じみた話になってしまいますが、給食センターを災害時対応にすることにより、国や県等の特定財源を使える可能性が極めて高くなるはずで、議会でどのような指摘があったのかわかりませんが、災害時にご飯を出すことでは特定財源の適用対象にはならないはずで、災害拠点等、そこは是非とも限りある財源を費用対効果の面でも上手く活用できる形を検討した上で、この特別委員会の指摘を加味して加筆していただきたいと意見として付しておきますので、調べていただきたければと思います。

## 事務局

ありがとうございます。是非、研究させていただいて、貴重な財源を確保できるように努力します、ありがとうございます。

## 臼井会長

よろしくお願ひ致します。東日本大震災の時、食事をどうするかは、被災地で大変な思いをしましたが、その状況を前いた大学の今学長をやっている中村丁次が日本栄養士会の会長として被災地を見て歩いたそうで、緊急対応の食事をすると温かくて普通のものが出されますが、大抵の場合、栄養的に問題があるという話を聞きました。ずっとその食事を食べ続けると確実に数ヶ月で栄養的に問題が生じてくるということが分かり、何か健康的な栄養を添付する必要があるということをお自衛隊に伝えたという話を聞きました。ですから、当然ですが、給食の話だと人員体制の話もありますし、子どもが食べるだけでなく他の人も食べることも意識すると、「栄養の問題まで担当課が意識化に持っていただけるか」という確認をしておいてください。何かあった時には、結果的に

一歩先の配慮がしてあるかどうか、常勤である必要もないし、コンサルティングで専門家の意見をちゃんともらえる状況を作っておくだけでもよいので、よろしくお願い致します。

## 守谷委員

**基本施策 27「災害に強いまちづくりの推進」**：今、我々が一番危惧しているのは、防災です。先日の九州豪雨や東北の川の氾濫等がありました。葉山も森戸川と下山川があり、ある程度見直しをされて危険地域の地図も出されていますが、これがここでの質問でよいのかはわかりませんが、この単位施策 27-02、単位施策 27-03 で、今頃このようなことをやるのか、「ペット同伴の避難所運営の研究を進めます」等、言っている場合ではなく、もっと進んでいるべきなのではと思いました。葉山でどれだけ雨が降るか、どれだけ災害が起きるかは、過去の例からいうとあまり起きてはいませんが、昨年 19 号の台風では下山川もかなりの高さまで水位が上がってきました。もう少し降ったら溢れることもあり得ることを想定した考え方を進めないと非常に怖いと思います。ハザードマップを見ると、河口から 2 キロまでは県土木の管理下で、それ以上の上が町と書いてあります。何をどう分けてどう管理していくのか、今後、防災に対しての町として、防災無線なのかわかりませんが、どうやって守っていくのか、住民の命が大切なので、それに対して防災意識の高揚も必要ですが、この辺の進め方を今回の新型コロナの対応も必要かもしれませんが、もっと進めていただきたいです。この書き方だと我々住民は、「これを今頃やっていくの」と捉えてしまうので、是非、もう少し前向きな進め方を進めたいと思います。

また、昨年の台風被害でペット対応のトラブルがありました。一連の経過に対し速い対応が出来たと思いますが、学校区での避難所運営委員会を活用し、関係町内会が協力出来たと思うので声を掛けて頂き、対応策の検討をすべきだと思いました。現在の防災安全課の体制では人的余力があまり無いと思われるので、ぜひ避難所運営委員会などを有効活用して頂きたいと考えます。

## 事務局

ご意見ありがとうございます。先程の河川の話については、葉山町に 1 級河川はないので、2 級河川として森戸川、下山川が流れております。河川区域については、おっしゃるとおり、神奈川県 の 管轄 ですので、平たく言えばハード面の整備、また水位が上がった時に連絡するようなアラートシステムは全て神奈川県がやってくれています。それより上流部については、法定外の水路として町で管理しています。また、ペットの話ですが、もしかしたら、ペットの話はそんなに重要なのかと思われたかもしれませんが、大変重要な課題と町は認識しております。葉山町はペットを飼われている率が非常に高く、町長の山梨が台風 15 号、台風 19 号の時にペット同伴で来られた方が多く、また、

家族同然に扱っているのです、なかなか皆さんと同じ場所には入れない、でも犬だから猫だから外に出してとはとても言えないので、ここは総合計画で書き込まなくてははいけない位大切な話として町は認識しています。「ペット等、何を悠長なことを言っているのか」と思われたのでしたら、これはとても重要な問題として町は捉えているので、そこは是非ご理解いただきたいと思います。その上でハード対策については、町では難しい部分があります。先程言ったとおり、河川の水量をたくさん呑み込めるようにして等の話は、正直、葉山町としては、そもそも2級河川の管轄は神奈川県ですし、ほぼ、護岸整備については、葉山町は終了していると聞いております。後はソフト面で如何にして早く住民の方にお知らせして、逃げる先をきちんと見つける。そこで一定期間避難できる体制をどのようにきちんと作るかに重点が置かれている計画になっていますので、是非、その辺、いつも避難所運営委員会も含めてお世話になっている、また、自主避難所も開設していただいている町内会の方の皆さんのお力添えいただき、連携をしつつ、この防災、自然災害に立ち向かっていきたいと、そのように町は考えております。

### **守谷委員**

ペットがいらないと言うつもりはありません。結局は19人が自主避難所に避難したのですが、そのうち2家族がゲージも持たずにペットを連れて避難してきました。結局、外に出すわけにもいかず避難所に入れたら毛が飛んで、犬嫌いの人もいたので迷惑しました。そのようなことがあるので、確かに犬でも猫でもペットに対する考え方が必要なのはわかります。私は、「研究を進めます」という言葉尻が嫌だったのです。これから始めるの？昨年まででいろいろ情報はあったので分かっているのか、どうやっていこうかという段階に入っていないといけないのでは、この1年何をやっていたの？というつもりもあり発言させていただきました。

### **事務局**

ありがとうございます。今の締め言葉について「この4年間でまだ研究段階で終えるのか」というご意見があったことを所管課に伝えさせていただきます。

### **臼井会長**

少なくとも「ペット同伴の～」という一行については、違和感なく読めるようにしてください。後は如何でしょう。概ね、今日の資料2つ“人を育てる”葉山と“暮らしを守る”葉山について一通り確認したということによろしいでしょうか。時間も迫っていますが、残りの2つの基本施策、“活力を創造する”葉山と“みんなでつくる”葉山について、若干説明されるのでしょうか。

### **事務局**

パスして構いません。

## 臼井会長

では、後 10 分位は、資料 2-1 と資料 2-2 について意見交換ということでよろしいですね。

## 高梨委員

資料の作り方について伺いたいのですが、資料 1「意見等に対する対応一覧」で、特別委員会の意見元で個人名の委員名が入っているものと入っていないものがありますが、何か意図があるのでしょうか。

## 事務局

すみません。誤記載でありますので個人名は削除させていただきます。失礼いたしました。

## 臼井会長

今の件は、既に配られているので、委員名が入っている部分は、皆さん、「取扱注意」で扱ってください。回収する必要がありますか。このままで良ければ、我々は取扱注意にしますがどちらにしますか。

## 事務局

不手際があり申し訳ありません。この資料 1 の一覧は回収させていただき、委員名を削除したものを次回改めてお配りさせていただきます。

## 臼井委員長

わかりました、では、これは回収ということになります。

## 守谷委員

すみません。私も同じ疑問で、特別委員会で名前があるものとないものが何故あるのか聞きたかったのです。

## 臼井会長

単純なミスですね。回収して改めてお配りするということがよろしいでしょうか。特別委員会の議事録を作っていて、それは 2 階に行けば公開してくれるのですね。資料の整合性の問題ですね。

## 高梨委員

私の趣旨としては、一部の方だけ名前が入っていて他の人が入っていないのは、何か作為や意図があつてのことかと伺いたかったのです。



## 事務局

特別委員会の議事録として議会で出るものは、確実に全文で要約せずを書いてあり、この意見一覧は事務局で要約して記載しているため、読み方によっては誤解を受けてしまう場合もあります。まだ、最終的な形で議会の議事録は出ていないので、本日、この一覧は回収させていただきたいと思います。

## 臼井会長

事務局として要約しているため、議員の方々との調整ではなく、事務局の責任で処理をしているため、無記名で資料としてお預かりするという事にしましょう。保管できるのは、改めて次回配布できるものということです。今の話は解決しました。後は如何でしょう。次回、残りの資料2-3、資料2-4の話をしますが、必要があればまた戻っても良いので、時間的に本日はこれまででよろしいでしょうか。本日の説明を受けて、また、アンケートの自由記述も多くありますので、必要ならざっと見ていただき、次回、ご意見をいただければと思います。アンケート調査の自由意見と調査結果の概要は、できたら紙ベースにしなくてもよいのですが、町の中の各課が読めるようにしてあげてください。つまり、自分のところだけでなく、町民の方々等のアンケートの結果について、広くアクセスできることはサービスについて大変高い評価をいただいているようですが、町役場のサービスの向上につながると思うので、是非、各課の方々がアクセスできるようにしていただければと思います。やり方はお任せ致します。それでは、参考資料4その他について、次の日程について、事務局、お願い致します。

## (5) その他

## (参考資料4)

## 事務局

本日も貴重なご意見をたくさんありがとうございました。最後にその他ということで、策定スケジュールも会を重ねるごとに細くなっていき申し訳ないのですが、次回、8月下旬に本日、準備が間に合わなかった基本理念3“活力を創造する”葉山と基本理念4“みんなでつくる”葉山の部分のいただいた意見を織り込んだものを本日の基本理念1・2と同じような形で修正部分のご報告とご意見を頂戴しながら、この段階ではパブリックコメント案として整えた物を事務局で用意させていただきます。また、先程お話いたしました序論もパブリックコメント案には入った形でご提示させていただきます。日程の候補日は、3つの委員会を回しているため、3つの候補日のどこかをお願いしたいと思います。本日、ご欠席の委員さんが3名いらっしゃるため、其の方達とも調整をしながら決めたいと思いますので、皆さんのご都合の悪い日を教えてください。

8月28日(金) ○ 全員

8月31日(月) × 近藤委員

9月1日(火) × 高梨委員 臼井会長

## 臼井会長

それでは、まだ、本日ご欠席の委員の方との調整が済んでいませんが、ご欠席の方との調整の上、可能性が一番高いのは、8月28日（金）午後とご理解いただきたいと思います。ということでよろしいでしょうか。

### **3 閉会**

#### **臼井会長**

本日もありがとうございました。概ね時間どおりに会議を終えることができました。これで第3回葉山町総合計画審議会を終わります。ありがとうございました。

終 了